

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名             |        | 公表日   |     |         |  |   |
|------------------|--------|---|-----|---------|--|---|
| 放課後等デイサービスあさぎり和光 |        | 2025年 3月 31日  |     |         |  |   |
|                  | チェック項目 | はい  | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点  |   |
| 環境・体制整備          | 1      | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。  | 3   | 2       |  |   |
|                  | 2      | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。   | 5   | 0       |  |   |
|                  | 3      | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 1   | 4       |  | ・保護者が迎え時に使用する通路に、またいで通らなければいけない側溝や切り株などの障害物があり、対応が必要。   |
|                  | 4      | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                 | 5   | 0       | ・2部屋を静の活動を中心に行う部屋と動の活動を中心に行う部屋とに分けて互いの活動の妨げにならないようになっている。                            |   |
|                  | 5      | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。  | 1   | 4       |  | ・個別の空間がなく、クールダウン等是一部屋まるごと使うことになっているため、個室や入れる空間があるといい。   |
| 業務改善             | 6      | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。  | 4   | 1       | ・前日の振り返りの時間を必ず設けている。   | ・事業所内のケースカンファレンスの機会をさらに増やせるといい。   |
|                  | 7      | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                  | 1   | 4       |  | ・アンケート等は行っているが、その内容について知る機会や話し合っ改善に繋げる機会はないように思う。<br>・保護者の意見は職員全員で共有したい。  |
|                  | 8      | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。  | 3   | 2       |  | ・職員の意見が業務改善に繋がっていないと感じるところがあるため意見を反映してもらえ環境が必要。<br>・2年以上意見を伝えているが、改善してもらえず困っている。<br>・把握する機会はこれまで設けられていたと思うが、直接支援を行う職員の要望通りにならないこともあるので、結果として業務改善と感じれないことが多々あったのではないかなと思われる。 |
|                  | 9      | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。  | 1   | 4       |  | ・外部評価が行われているのか、結果がどのようなものか、聞くことがなく、不明。  |
|                  | 10     | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                     | 5   | 0       | ・浜松市障がい児放課後支援連絡協議会から共有される研修案内や事例検討会の研修案内等があれば職員に共有して、参加希望があれば参加できるように事業所として体制を整えている。 |   |
|                  | 11     | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。   | 5   | 0       |  |   |
|                  | 12     | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。                | 5   | 0       |  |   |
|                  | 13     | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。  | 5   | 0       |  |   |
|                  | 14     | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。   | 2   | 3       |  | ・共有後定期的に支援について振り返りを行い、今の支援が計画に沿っているか話し合うとより丁寧な支援になると思う。   |
|                  | 15     | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。   | 4   | 1       |  |   |

|              |  |  |   |   |   |  |
|--------------|--|--|---|---|---|--|
| 適切な支援の提供     | 16   | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5 | 0 |   |  |
|              | 17   | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 5 | 0 |   |  |
|              | 18   | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 5 | 0 |   |  |
|              | 19   | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。   | 4 | 1 |   | ・計画は立てていても、個別の活動を求めている児童は個別の活動に偏りがちになっている。集団活動への促しも必要だと思う。   |
|              | 20   | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。  | 5 | 0 |   |  |
|              | 21   | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。   | 5 | 0 |   |  |
|              | 22   | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 2 | 3 |   |  |
|              | 23   | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。  | 5 | 0 |   |  |
|              | 24   | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。   | 5 | 0 |   |  |
| 25           | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 5  | 0 |   | ・月のスケジュールでリクエスト活動の日を設けていて、子ども達の意見を聞けるようにしている。 |  |
| 関係機関や保護者との連携 | 26   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。   | 5 | 0 |   |  |
|              | 27   | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。   | 2 | 3 |   | ・学校等、連携できていないように感じるところもあったため、お互いの情報をもっと共有して支援に繋がれたらいいと思う。<br>・個人情報保護法のため連携がとりにくい体制になっている。連携がとりやすいように浜松市が体制作りをしてほしいと思う。 |
|              | 28   | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。  | 4 | 1 |   | ・学校から行事予定等はもらっているが、こちらの予定等は渡していないように思うので、子どもが安心して過ごせるように渡して共有を行えるといいと思う。   |
|              | 29   | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。   | 5 | 0 |   |  |
|              | 30   | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。   | 5 | 0 |   |  |
|              | 31   | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。  | 2 | 3 |   |  |
|              | 32   | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。   | 3 | 2 |   | ・放課後児童クラブとの交流はないが、児童館は利用させてもらっており、今年度新たに1か所近隣の児童館を初めて利用させてもらった。<br>・あまり交流がないため交流の幅を広げたい。                               |
|              | 33   | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  | 2 | 3 |   |  |
|              | 34   | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。   | 5 | 0 |   |  |

|          |    |  |   |   |  |  |
|----------|----|--|---|---|--|--|
|          | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。               | 2 | 3 | ・年2回保護者交流会を実施しており、そのうち1回はセミナーの機会を設けている。  | ・職員がベアトレを提供したり、一緒に行ったり姿が見られないため、提供できるよう学んでいきたい。  |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 5 | 0 |  |  |
|          | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。         | 5 | 0 |  |  |
|          | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                                 | 5 | 0 |  |  |
|          | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。  | 5 | 0 | ・保護者との会話から悩み事が出てきたら、他職員と共有し、解決への方向へ向けるよう話し合いをし、保護者の心が少しでも軽くなるよう話したり、聞いたりする。          |  |
|          | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 4 | 1 | ・年2回法人内の放デイ事業所合同で保護者交流会を実施している。  |  |
|          | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 4 | 1 | ・保護者や利用児童も使用する通路にある切り株につまずいてしまった保護者が出た時は、その日のうちに視覚的に足元の注意喚起のための旗を用意し、同じことがないように対応した。 |  |
|          | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。                   | 3 | 2 |  | ・児発管が変わってからHPLに活動の様子を発信できていないので行っていく必要がある。   |
|          | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 4 | 1 |  | ・保護者の方々目の目にふれられるところに職員の携帯番号が記載されたものがあつたため気をつけていきたい。                                    |
|          | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 5 | 0 |  |  |
|          | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 2 | 3 |  |  |
| 非常時等の対応  | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 4 | 1 |  | ・緊急時連絡先の書類が古いままの物が多く、現在の正しい連絡先が分からない状態。年に1回は書類の見直し、必要に応じて年度途中で更新して誰でも分かるようにしておくべきだと思う。 |
|          | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 4 | 1 |  |  |
|          | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。  | 4 | 1 |  | ・予防接種まで確認できていなかったもので、確認しようと思う。   |
|          | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 5 | 0 | ・誰が何のアレルギーなのか分かるようにおやつが置いてあるところに用紙でまとめた物を貼っている。                                      |  |
|          | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 5 | 0 |  |  |
|          | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 5 | 0 |  |  |
|          | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 5 | 0 | ・事業所だけでなく、法人内の放デイ3事業で共有している。また、必要に応じて再発防止に向けて話し合いも行っている。                             |  |
|          | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 5 | 0 |  |  |

|    |  |   |   |                                |  |
|----|--|---|---|--------------------------------|--|
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 5 | 0 | ・別紙で身体拘束に関して説明を行い、同意書をいただいている。 |  |
|----|--|---|---|--------------------------------|--|